

発言者	ご意見等	対応状況
<b>1 災害・犯罪に強くいつまでも住み続けられるまち</b>		
1 伊藤委員	気候変動などによって水害のリスクは高まっているため、「水害」を盛り込むべきではないか。	【現況と課題】の中で明記（水害等） 【施策の方向性】の中で明記 ①地域ぐるみの防災力・防犯力の向上 （7）地域防災体制の充実・強化
2 磯野委員	津波、高潮などへの対応として防災対策の再点検が必要ではないか。	
3 田中委員	水害は中央区にとって特徴的な災害であり、現況と課題の中で触れる必要があるのではないか。	
4 大辻委員	中央区では津波、高潮による大きな浸水被害はないとしているが、品川区では浸水することを想定して対策を講じている。中央区でも津波、高潮への対策を検討すべきではないか。	
5 志村委員	熊本地震を踏まえた防災対策の見直し、検証が必要ではないか。	【現況と課題】の中で明記 （熊本地震の教訓）
6 磯野委員	安心して住み続けられるまちには、やはり地域コミュニティの構築が重要となるため、その構築方法について検討すべきではないか。	【現況と課題】の中で明記（地域の連携、自助・共助） 【施策の方向性】の中で明記 ①地域ぐるみの防災力・防犯力の向上 （7）地域防災体制の充実・強化 （4）地域特性に応じた防災対策の推進
7 梶原委員	今後は町会はもちろん企業も含めた地域ぐるみのコミュニティを構築していくことも必要ではないか。	
8 市川部会長	災害時にはタワーマンションごとのコミュニティが役立つため、タワーマンションのコミュニティのネットワーク化を図り、それを犯罪などにも役立てていくことが必要ではないか。	
9 志村委員	災害時には、地域町会とタワーマンションの協力やコミュニティも必要ではないか。	
10 吉田委員	核家族化の進展で高齢者独居等が増えてきたことにより、地域力が弱くなっているため、全体を通じて地域力を高めていくことが必要ではないか。	
11 大北委員	防災対策については、企業をどのように巻き込んでいくか検討すべきではないか。	【現況と課題】の中で明記（企業との連携） 【施策の方向性】の中で明記 ①地域ぐるみの防災力・防犯力の向上 （7）地域防災体制の充実・強化 （4）地域特性に応じた防災対策の推進
12 市川部会長	災害時に企業の方へ協力を依頼し、企業の方が負傷等をした場合、誰が責任を持つのか法整備がされていないが、今後、企業を巻き込んでいく上では避けて通れない課題であると考えている。	
13 市川部会長	災害の話に限らず、中央区として、区民と非区民への対応をどのように位置付けるのかということが、大きなテーマとなるのではないか。	【現況と課題】の中で明記 （区民と非区民の位置づけ）
14 大北委員	地震発生時の外国人への対応について検討すべきではないか。	【現況と課題】の中で明記（外国人への対応） 【施策の方向性】の中で明記 ①地域ぐるみの防災力・防犯力の向上 （4）地域特性に応じた防災対策の推進
15 吉田委員	中央区は、在勤者に加えて観光客等の通過者がいることから膨大な帰宅困難者が生じるため、これを踏まえた災害対策を考えていくべきではないか。	【現況と課題】の中で明記（帰宅困難者（通過人口）） 【施策の方向性】の中で明記 ①地域ぐるみの防災力・防犯力の向上 （4）地域特性に応じた防災対策の推進
16 田中委員	防災では一人一人の防災意識の向上・継続が重要であるため、防災教育のエッセンスを盛り込むべきではないか。	【施策の方向性】の中で明記（防災意識の向上・継続） ①地域ぐるみの防災力・防犯力の向上 （7）地域防災体制の充実・強化

1 災害・犯罪に強くいつまでも住み続けられるまち

17	磯野委員	災害時における医療体制の再検討と充実が必要ではないか。その中で、医療インフラの拡充、隣接区との連携体制の構築、緊急時の病院確保が課題となる。また、防災拠点等の周知や増加する来街者の整理・広報も必要ではないか。	【施策の方向性】の中で明記（医療機関との連携） ①地域ぐるみの防災力・防犯力の向上 (7) 地域防災体制の充実・強化
18	磯野委員	子ども達が塾などで夜遅くまでまちを出歩く中、安全面の観点から街路灯など明るい環境の整備が必要ではないか。	【施策の方向性】の中で明記（犯罪の抑止） ①地域ぐるみの防災力・防犯力の向上 (7) 犯罪のない安全・安心なまちづくりの推進
19	市川部会長	災害時に最も重要なものは「共助」と言われており、コミュニティが重要となってくる。犯罪についても、人々が見張っていることによって抑止が起きるため、人々が自分たちのまちを守る仕組みを作っていくことが必要ではないか。	
20	市川部会長	「②安心して住み続けられる住宅・住環境づくり」の「(イ)区民住宅の管理」については、高齢者等への対応がテーマということであれば、「区営住宅の管理運営」というよりも、「高齢者等への対応」という方がわかりやすいのではないか。	【施策の方向性】の中で明記（小項目の項目名を修整） ②安心して住み続けられる住宅・住環境づくり (イ)区民住宅の管理→(イ) 高齢者等に対応した住宅・住環境の整備
21	磯野委員	災害時に区役所は災害対策の拠点となるため、本庁舎の建て替えを含め、災害対策本部の機能強化を図るべきではないか。 (参考) 3つ目の大項目「魅力ある都市機能と地域の文化を世界に発信するまち」の中でのご意見：人口の増加に伴って区役所の事務が増大する中、区民サービスの維持・向上のために本庁舎の建て替えが必要ではないか。	3つ目の大項目【魅力ある都市機能と地域の文化を世界に発信するまち】の中で明記 (将来の人口動向を見据えた公共施設の整備)

2 水とみどりあふれる豊かな環境を未来へつなぐまち

1	梶原委員	区民意識調査の中で「大気汚染や騒音など環境が良くない」が気に入っていない点として挙げられているため、「大気汚染」を盛り込むべきではないか。	【現況と課題】の中で明記 (清らかな水と空気)
2	大辻委員	首都高速道路の地下化等によって大気汚染を減らしていくべきではないか。	
3	市川部会長	美しい景色や美しい空気、水は、当然、多くの方々が求めているものであるため、盛り込むべきではないか。	
4	市川部会長	緑化だけではなく、緑化によって生物の多様性を戻すというところまで打ち出していくことが必要ではないか。	【施策の方向性】の中で明記（生物の生息環境創出） ①水とみどりにつまれたやすらぎのある空間づくり (7)水と緑のネットワークの形成
5	磯野委員	現在の公園・児童遊園は老若男女が集える場所となっており、子どもが自由に遊ぶことのできる場所とはなっていない。今後は、目的別の公園づくりも必要ではないか。	【施策の方向性】の中で明記（公園機能の分担化） ①水とみどりにつまれたやすらぎのある空間づくり (4)公園・児童遊園等の整備・充実
6	田中委員	低層の高速道路については、十分な安全対策を講じて蓋をして公園・緑地を広げることができるのではないか。	【施策の方向性】の中で明記（大規模開発等の活用） ①水とみどりにつまれたやすらぎのある空間づくり (4)公園・児童遊園等の整備・充実
7	伊藤委員	公園の整備にも限界があるため、屋上緑化の中で子どもが遊べるような環境を整備していくというようなことも必要ではないか。	
8	伊藤委員	河川法の改正により占用許可基準が緩和されたため、水辺の活用について盛り込むべきではないか。併せて、河川の水質改善を図ることも必要ではないか。	【施策の方向性】の中で明記（魅力的な水辺空間の創出） ①水とみどりにつまれたやすらぎのある空間づくり (4)安全・快適な水辺環境の整備・充実 ※「水上交通」については、3つ目の大項目【魅力ある都市機能と地域の文化を世界に発信するまち】の中で明記
9	梶原委員	水辺と観光を結び付けることによって来街者を呼び込み活性化を図ることができるのではないか。	
10	磯野委員	中央区は水辺が多いため、築地市場の跡地を利用し、船の交通網の整備に取り組んでいくべきではないか。	
11	磯野委員	中央区は緑化率が低いということが課題ではないか。	【施策の方向性】の中で明記（緑化の促進） ①水とみどりにつまれたやすらぎのある空間づくり (5)緑化の促進
12	田中委員	外国人が増加している中、今後、ごみの出し方などについて外国語表記が必要ではないか。	外国人向けのパンフレット（英語・中国語・ハングル語）を作成し、ごみと資源の正しい分別・排出方法の周知を図っている。

3 魅力ある都市機能と地域の文化を世界に発信するまち

1	磯野委員	公共交通の整備促進として、地下鉄新線の早期実現やBRTの導入など、利便性を高めていくことが必要ではないか。	【現況と課題】の中で明記（BRTの導入、地下鉄新規路線の整備） 【施策の方向性】の中で明記 ①都心にふさわしい基盤整備 (ウ)公共交通の整備促進
2	伊藤委員	交通については、これまで速く・多くを追求してきたが、今後はまちをゆっくり楽しむ遅い交通も必要ではないか。例えば、歩行者空間の拡充や自転車、また舟運が盛んになれば良いのではないかと考える。また、これらの交通ネットワーク全体についての検討も必要ではないか。	【現況と課題】の中で明記（商業・観光の視点を取り入れた区内の回遊性を高める交通網） 【施策の方向性】の中で明記 ①都心にふさわしい基盤整備 (イ)交通環境の改善 (ウ)公共交通の整備促進
3	磯野委員	公共交通ではまだバリアフリー化されていない所もあるため、「バリアフリー社会の推進」を盛り込むべきではないか。	【現況と課題】の中で明記（バリアフリー化） 【施策の方向性】の中で明記 ①都心にふさわしい基盤整備 (イ)交通環境の改善
4	磯野委員	人口の増加に伴って区役所の事務が増大する中、区民サービスの維持・向上のために本庁舎の建て替えが必要ではないか。	【現況と課題】の中で明記 (将来の人口増加を見据えた公共施設の整備)
5	磯野委員	食品や生活用品が揃うような商店街が少なくなってきたことから、大型のスーパーマーケットが必要ではないか。	【現況と課題】の中で明記 (多様な商業施設)
6	磯野委員	中央区には総合病院が少ないが、安心して住み続けられるまちづくりのためには、総合的な医療機関を確保していくべきではないか。	【現況と課題】の中で明記 (医療施設の充実)
7	大辻委員	子どもが増加する中、医療機関が十分確保されていないため、再開発の際に医療機関を残していくような取り組みが必要ではないか。	
8	志村委員	「中央区の将来像に向けた検討すべき視点」として、「世界一の都市」東京を牽引役として本区の総合力を結集するといった記述があるが、この視点に問題があるのではないか。住民の期待、要望に応えるまちづくりに力を注ぐべきであり、3つ目の大項目は「安心、快適、魅力ある都市環境と地域の文化を世界に発信するまち」という表題とすることを提案する。	【現況と課題】の中で明記 (区民が豊かに暮らせるまちづくり)
9	吉田委員	世界一の都市を目指す中で、経済的な豊かさを誇るのではなく、経済的な豊かさを区民生活のあらゆる面の豊かさにつなげていくということが今回の基本構想のテーマではないか。	
10	伊藤委員	世界的都市には水上からの景観が印象的な都市が多数あるため、世界に発信するまちという意味では水上からの景観も重要ではないか。	【施策の方向性】の中で明記（魅力的な景観形成） ②地域文化をいかし未来を実現するまちづくり (7)地域の個性をいかした良好なまちづくり
11	磯野委員	築地市場跡地の利用については、まち全体に寄与するような活用方法を中央区として打ち出していくべきではないか。	【施策の方向性】の中で明記（築地市場跡地の活用） ②地域文化をいかし未来を実現するまちづくり (イ)世界に発信する魅力的なまちづくり
12	大辻委員	世界的に禁煙の流れがある中、世界都市を目指すためにも全面禁煙とすべきではないか。	安心部会へ申し送り (健康被害の防止)
13	磯野委員	たばこは趣向品であることに加え、たばこの販売によって生計を立てている方もいるため、全面禁煙ではなく、分煙の環境整備が必要ではないか。	
14	田中委員	大学・高校の発祥の地として大学の誘致を検討していくべきではないか。大学ができることによって、若い世代が交流し、まちに良い影響をもたらすと考える。	躍動部会へ申し送り (多世代交流)